

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 26 年 1 月 30 日 (2014.1.30)

【公表番号】特表 2013-513579 (P2013-513579A)

【公表日】平成 25 年 4 月 22 日 (2013.4.22)

【年通号数】公開・登録公報 2013-019

【出願番号】特願 2012-542567 (P2012-542567)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/22 (2006.01)

A 6 1 K 31/19 (2006.01)

A 6 1 K 47/46 (2006.01)

A 6 1 K 9/107 (2006.01)

A 6 1 K 47/16 (2006.01)

A 6 1 K 47/34 (2006.01)

A 6 1 K 31/167 (2006.01)

A 6 1 P 17/02 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 23/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/22

A 6 1 K 31/19

A 6 1 K 47/46

A 6 1 K 9/107

A 6 1 K 47/16

A 6 1 K 47/34

A 6 1 K 31/167

A 6 1 P 17/02

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 23/02

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 12 月 6 日 (2013.12.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ブレバーンまたは熱傷の皮膚治療用医薬組成物であって、蜜ろうおよび任意選択的に 1 種または複数種の薬学的に許容される賦形剤と組み合わせ、オクタン酸セテアリルおよび / またはヘキサン酸から選択される活性成分を、組成物の全重量に対して少なくとも 4 重量 % 含むことを特徴とする医薬組成物。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の治療用医薬組成物において、前記活性成分がオクタン酸セテアリルであることを特徴とする医薬組成物。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の治療用医薬組成物において、前記組成物の全重量に対して活性成分を 4 ~ 15 重量 % 含むことを特徴とする医薬組成物。

【請求項 4】

請求項 1 乃至 3 の何れか一項に記載の治療用医薬組成物において、前記組成物の全重量に対して蜜ろうを 2 ～ 5 重量 % 含むことを特徴とする医薬組成物。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 の何れか一項に記載の治療用組成物において、前記活性成分と前記蜜ろうの比が 0 . 8 ～ 7 . 5 であることを特徴とする組成物。

【請求項 6】

請求項 1 乃至 5 の何れか一項に記載の治療用医薬組成物において、デクスパンテノールおよび / またはポリジメチルシロキサン (ジメチコーン) から選択される 1 種または複数種の更なる添加剤を含むことを特徴とする医薬組成物。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 6 の何れか一項に記載の治療用医薬組成物において、リドカイン、プリロカイン、スカンジカイン、エチドカイン、プピバカイン、ロピバカイン、レボプピバカイン、アルチカインおよびメピバカインから選択される 1 種または複数種の局所麻酔薬を含むことを特徴とする医薬組成物。

【請求項 8】

請求項 1 乃至 7 の何れか一項に記載の治療用医薬組成物において、メラルーカ・アルターニフォリア (*Melaleuca alterniflora*) 精油またはその誘導体、テペズコヒテ (*Tepezcohuite*) 精油またはその誘導体、ユーカリ (*eucalyptus*) 精油またはその誘導体、タイム精油またはその誘導体、ローズマリー精油またはその誘導体、レモン精油またはその誘導体、クローバ精油またはその誘導体、シナモン精油またはその誘導体、マツ精油またはその誘導体、ラベンダー精油またはその誘導体、ロックローズ (*Cistus ladaniferus*) 精油またはその誘導体、セントジョンズワート (*St. John's Wort*) 精油またはその誘導体およびジャコウバラ精油またはその誘導体からなる群から選択される、1 種または複数種の精油またはその誘導体も含むことを特徴とする医薬組成物。

【請求項 9】

請求項 1 乃至 8 の何れか一項に記載の治療用医薬組成物において、局所的にまたは注射によって投与されることを特徴とする医薬組成物。

【請求項 10】

請求項 1 乃至 9 の何れか一項に記載の治療用医薬組成物において、局所投与の場合にはプレバーンまたは熱傷の原因との接触から開始して 60 秒以下の時間内にまたは注射による投与の場合にはプレバーンまたは熱傷の原因との接触から開始して 30 分以下の時間内に、前記医薬組成物を前記皮膚損傷と接触させることを特徴とする医薬組成物。

【請求項 11】

請求項 1 乃至 10 の何れか一項に記載の治療用医薬組成物において、局所投与の場合にプレバーンまたは熱傷の原因との接触から開始して 45 秒以下の時間内に、前記医薬組成物を前記皮膚損傷と接触させることを特徴とする医薬組成物。

【請求項 12】

請求項 1 乃至 11 の何れか一項に記載の治療用医薬組成物において、注射による投与の場合にプレバーンまたは熱傷の原因との接触から開始して 25 分以下の時間内に、前記医薬組成物を前記皮膚損傷と接触させることを特徴とする医薬組成物。

【請求項 13】

請求項 1 乃至 12 の何れか一項に記載の治療用医薬組成物において、前記医薬組成物が、60 分間に 30 回続いて投与されることを特徴とする医薬組成物。

【請求項 14】

蜜ろうに伴う組成物の全重量に対して少なくとも 4 重量 % のオクタン酸セテアリルおよび / またはヘキサン酸とを、デクスパンテノールおよび / またはポリジメチルシロキサン (ジメチコーン) から選択される 1 種または複数種の補助添加剤、及び選択的に 1 種または複数種の薬学的に許容される成分とを含むことを特徴とする、医薬組成物。

【請求項 15】

薬剤として使用される請求項 14 に記載の医薬組成物。